六六和奇集 抄

戀四

内閣文庫
和書
二五〇九八 號
二〇冊
類
二〇〇函
五架

二五〇九八 號
二〇冊
類
九六函
五架

内閣文庫
番號 和 25098
冊數 20 (14)
函號 200 25

国立公文書館
National Archives of Japan

古今和歌集巻第十四 秋歌

歌の四

[illegible]

[illegible]人[illegible]

陸奥の[illegible]の沼の花ぐめ美かはしき人と

[illegible]

[illegible]

[illegible]

おなつし

三河美濃の国にてうつみとしくる物あり水まさりて流の新しくしとりてけり　彩よりたる紙袋よりて又加茂ちぐさもして合はくしと世和この国のたりてある表りはくらられを試しよりたる著書より味ひしる和ちりまもいいの咲ちん程この出れ人よあひて書く四四さだやとおもり

ひとりそぶ京一住事もなすうしまにて書にて

人をさくべうりけるん明うしし

はくゆき

いそのくの美ふるれなるうみちゆくにたそぶ京

とおもそうしやハ

上ハ中くにといたん京しまそんげるさきハ京と

只そんやにそうふぐさをゆくよまそんてより

そそひきハくしのうみ竹茶ハ大和の山道

彩し中道ハそれゆよ在る途ハ美濃の中山ゆ

乃中山なぐそうよ同ぐ京宮の美よ紙茶山みるの

中ハ京ちりもゆるるハくしぐおそれぐるをしく今

にそうたぐ古途ハと京伝もあれど古途をみる

れ中みちとハそべうぐ京ハくしとまゆうり

しとおぼ由

蕗茶のぐゆれ

袁江ち有ちそ子也とゆり

男てへバそれそれそまをぐのるれるぐしば

たくもゆる紙所を

はゆ方別茶よ如紙んそ今のそよハ京とく

ハまの白ちゆる茶とあり茶袁のちゆとて

ぞれぞれ
ハ
ぞれ
ぞれ
ぞれ

ハ
ぞれ
ぞれ
ぞれ

ハ
ぞれ
ぞれ
ぞれ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

或人秋を論ず

流八月

秋を論ずるもこのはしにとどまるべし

ある人ゝ詩を撰ずる昌泰四年八月十五夜うゐ合の歌ども

人ゝに詠ませたまへるこのかみ

ぞうのくらのかみ

ぞうのくらのかみ

ぞうのくら

君やこん神やゆうもれいぞ　ひよ　桔のいくこと

をけこそ　ゆるよりも

たかはよ　ハやはくれ　ひよ　桔の板戸もけこそあり　いぞよ

ひやまこ　ひたよ　たこ　くこし　山作の方ちこそて

まこ　今ハなかこて　うたこ　うこんこせしものか

きこ　木は板戸或ハ　桜戸こそを　もこて　桜の戸し

こと　こて　百望よ　おくこ　山の子本は　板こと　ハ　みこ　山よ　ハ

必大木は　こ　こ　こ　たぐ　きこ　木こ　こ　し　桜の　こ　おくこ　山

有　掛　こ　こ　こ　の　桜戸　杉戸　ちぐ　こ　ハ　杉の門　桜の　つ

こて　門よ　杉や　桜の　あ　こ　こ　を　こ　こて　戸の　字よ　水

こ　板こ　戸　園の　こ　戸　こ　ど　ハ　ぶよ　付　こ　る　戸の　字　こて　ゐ

奇の　こ　あ　こ　こ　け

ろせいろ

今ハ　こ　こ　こ　ひ　こ　ぞ　こ　こ　こ　て　も　月の　是　の　月

を　待　生　ひ　こ　る　こ　ゆ　ハ

こ　こ　れ　日の　こ　こ　ば　こ　こ　こ　こ　を　た　の　ゆ　お　こ　し

こ　人　こ　こ　ゆ　紙　板　仮　こ　も　こ　こ　で　も　こ　板　こ　て　こ　く

と　待　よ　有　明　月　れ　こ　る　ほ　こ　こ　で　板　ハ　み　こ　れ　ど　人

い　こ　こ　こ　ひ　な　く　待　ぬ　月　の　も　こ　ぬ　と　こ　て　ま　ぬ

こ　こ　こ　を　ま　い　こ　こ　も　こ　明　月　ハ　十　五　板　こ　う　ほ

ば　ひ　こ　こ　ば　こ　こ　待　こ　ひ　こ　ん　ハ　世　る　ほ　れ　月　成

る

こ　み　人　こ　こ　こ

月　表　こ　板　こ　し　と　人　ほ　こ　や　こ　こ　ば　こ　て　ぬ　ホ

ち　こ　を　海　こ　こ　ま　こ　し　ま　ま　な　こ　ま

月　表　こ　ハ　月　の　ぬ　こ　板　こ　し　ハ　両　月　こ　こ　れ　戸

一説に同もう一説ハ
よりれバうるゝ者を
いづくゝよりとゝ
ゝせと告やゝバ人
のゝをたゝうゝる
ばづゝゝてこんとゝゝ
仰ゝう者も又ゝゝ
おゝゝハゝゝゝ
あゝゝねバいづゝ告ゝ
んとゝゝゝゝゝゝ
ばゝ告やゝバの何
ハゝゝゝれどゝもゝ
しゝく説ゝゝゝ

よひゝゝて都ゝゝゝゝゝゝ

[illegible]

高麗のくにとつくりよこしたる[illegible]風をうち
ぶりとこそみをこそまつてはをるこそよし
木萩の枝をとりわくるこそまつてはをるこそよし
[illegible]
[illegible]
世にはあらぬこそ世をもめづらかなれ、[illegible]
よりも枝をたをりくしてあるはるで[illegible]
枝をこそ木たちざのこそ[illegible]
[illegible]

[illegible]

河[illegible]
[illegible]
あれ[illegible]
[illegible]
[illegible]

きたるに清れやうにはあるべうもあらぬ
るまでしてあるべきもかなしう
見ぬ人もてはやすほどもすぐして又あるべきも
あれどもあるべうもあらず上は序にてきたるに大和の地
名に鎌倉天皇(ゴ)の御時金剛宮と世をきこしめして
めでたき御ありさまなれば大和の国一冠にあるべうも
きり大和も一国の事なれど日本の国名とも
なる国にもきこえ出でたる大和といひて日本は
総名といひなるべき所とはつけるべ
きにはあらぬ所のなづけ方なるべうもあらず
そこのやうにはあるべうもあらず

（傍注：磯城郡をいひて城上城下と云ふ城上はまた名づけたるなり）

見はたぐ一すぢにいひなしたるにて言はんかたなし
ものはあらぬ名ばかりなるものの集でとあり
よんどころなくてこそ
みそのの大川のべれば名なみのなくて思ふべき
こひしやい
上は序にてなみのなくなるまでをきき
はぬ人もあるべうもあらず大河の名は地名
あるべいでもまた大河はほとりをそこし
かえらひまもなく絶えず思ひ心のこころぶまた
しうりなる
姫路城をうんぬんとはうのちよりはべるべ
きもうたがはれたるまでまことしう海内
和漢まことにうんぬんのうちよりはべるべ
きにはあらぬ

[illegible]
天れたるとみるとぞ詠うなる神も男の神をば
ちくるるとみるの八
男の神れたるるてゞれを苦くいちんとて
そぐろハ世の[illegible]しけるハ神の御[illegible]
梓弓ひき張れけるゞ[illegible]
ちくるれたゞ
[illegible]
人よいひさるるゞ事れたゞうんとおもひ
おるるしひきはハ河内国日置とゞてその伝る
[illegible]
一対様しけるゞらハうゞくしふ築れ蔓世とて
ゞくゞるゞれよせてあらん未ひるハひるを

はゞてとれんしまちよ注みて[illegible]ハ[illegible]人
あゞれみるゞあるゞれ[illegible]
とるんやまるゞくゞとゞゞ
天れたゞうれ[illegible]
うゞゞ[illegible]
夏ゞれ[illegible]
弱んとおもゞれ
ある人のゞ考ふゞひて糸ハ[illegible]ハ[illegible]の糸と
ゞゞて[illegible]ハ[illegible]と一説ハ[illegible]
[illegible]
かひゞ子も夏ゞハ[illegible]
委れ糸[illegible]
志ゞくゞゞ[illegible]の糸を[illegible]
中弱んゞ思ゞ[illegible]

はるみてまりたるうんえるものありとうぞ
屋人乃ていこの殿れしーげくまうれ彩君よりの八
ざうめやそ
そやうのれゆくまうるれあそきうやよ人八
いひさわぐくるる今逢ざいはひよたんぞのくく
高殿の茂くくもといこの殿れまのめくーげく
人れいひさうぐうそ
藤原の飯りれ郎トのなりひられ胡蝶のあなり。
ろる女をあひきりて。ふくはくのえせりくるうばよ
いまはあうでえ。雨のつりくるをゆんえをでひ
はうとひくりくるをうてのをうるにのそうて
もりとまる

生駒、萬平郎

かぐくる男ひおもえうぞとひうぐうえ所をーしる
雨八ゆうでまはちまるる
見八報くの女の中ヨ男ひのて方八ゆうるとひ
めうんさまで男えぬ方八雨ゆいとひうぐうえ
えうーめうもむ伝八うれおもうれぬ方を
しる雨乃ゆうぞうはれうるとうし
はるる女れ。なを平れ胡トをはうぐめうぞありう
まうとおもひて。ようみてうはうる

よる人うまう

おほぬれれいまはうはうる感ぬまバ男へいうえうそ
なのまうぐりう殺
大めうさ八人あうまうまうれてい地まれ
ばひくまあううとバひうり殺宣まうるみうぐま

る川の岡せきひく網をたぬきなりと人やうらん
古事記仲哀天皇れ條は国れ大ぬ佐ヶ被せ
やうく天武記よも大帯を出てきたりとうらハ
朔(ナホヤケ)なれ帯(ヌサ)なれバたちとハうらハ
この八はぐろうんあるうらハ
てれぐるし

百一

おろめさとうろうたうろうたうろうた

くをてらしてろれ[illegible]ぞ物ぐ
ろくんれまもうれ[illegible]
[illegible]の里よ[illegible]
[illegible]

[illegible]の里よ[illegible]人れそ書たで一[illegible]
そ紙詩[illegible]
あるそと[illegible]
[illegible]

以[illegible]人[illegible]
色[illegible]

[illegible]人[illegible]
[illegible]
又[illegible]

うたしん八人ようやけそんしたのみで
き八源氏の蓮生まはれはもそしてと
どちそれ[illegible]
にう[illegible]
うしひきたそれば
偽れなれ世なりそ[illegible]
うまし[illegible]
[illegible]八学[illegible]
に弱て偽なりせバ[illegible]
いたそると思[illegible]
我八ふのまん
偽[illegible]
他人をあれバ[illegible]

秋風は山のあれ葉乃うたてはいとゞ人のこゝろもいとゞとゞ思ふ

若草もこゝろをもうつすとうちよる秋風とゝもよいちゝ万なるべし秋ばんれもあるようにそうろうこゝろ

ちるこゝろれ海ハおもゝたゞうゝとゝのみて人れんもいでゝそゝ思ふまてりぬべし秋いそぐゝゝとゝ

ゝふもよ花なゝゝやふぼゆ

寛平の御時。きさいの宮れ三合の歌

友則

せみのこゑきゝもゝぐゝのなしいつゝろもしうもく

やひとのなゝんとれかゝ

上ハ歌くゝやといちんゝ物をもてけゝり

六帖よハみゝんを

すゝんゝゝあゝ

なをゝ海のみし蝉ハ六月れ言てハ物ゝ物ゝ

衣の歌ゝゝおゝるゝ秋風もゝくゝゝるもけゝ

ゝハ物ゝれ二重ゝすゝゝゝを思ふなゝゝ人の歌

うゝくゝやゝゝんゝゝゝハけゝゝゝゝゝゝ

ゝゝゝとゝハ入ゝゝゝる流ゝゝ

なゝいゝゝゝゝゝ清人ふゝ

ゝう言せゝれよの人ゝれゝれ書ハゝゝれ

ぬゝものゝ ゝれぬ信ゝ

いせ物語よゝゝん ゝたせみハ物ゝ老の人ゝゝ一対猟し言ハ男

ゝゝひ表ゝゝゝ

ゝれハ物なゝゝを

ぬゝゝゝゝ 人ゝゝゝれゝ

ゝゝ物ハ物なゝゝを

ゝの信ゝゝ思ゝん中ハ

ゝもゝれゝゝ言ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

でと思ふ事なれば、立葛れ絶ぬ住のうちに
ば事しもあるべき思ひつるに
ほど或人のいとくなりなりみれあづまどこのくしと
あり例のとうれぬるぐ
宣門乃ちまぐひ出て人とて
ものうきさく詠あるもれを
思ふ歌ゆゑ井れひくあるをいつまでと人うら
たづひめゆゑもど彩未こうしてもく思うんのみよ
うゑもバ井ゆこうゑ地をとしほをふ注のをし
ゆゑ勢い法師
ゆゑひなれ河やハきゆ山川乃清き流ゆう
ゆゑ法ハ為て
ゆゑりて法ゆ河ハ為のきゆるなまゆがくゆかく
人れゆゑわゆゑまうたるんなり思ふんの清ゆ

ゆゆゆゆ法ハたてゆゆを山川の清れたゆゆ
ゆゆ為ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ひゆゆあの鹿川の鹿ゆゆ下の流りゆのゆゆあゆ
ま上下四方ハゆ生ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
に天ゆゆれゆゆひめの浦天地のむゆ法ゆゆゆ
ゆゆゆゆ同ゆゆゆゆれゆゆゆゆゆゆゆ又
ゆれゆれ山のゆゆゆとゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
紅のゆ川ゆれゆれゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆ

八度はあくるとてぞ中よ世ゝ年あるべきやうく
咲てよもうるなるあるよ初花源のうしろ
咲ぬるなるあるこの原を大臣
咲義天皇之宗八子也ハ大原氏や京数十四年任
右大臣寛平七年薨源朝臣融公とうす
みちのくのえのはなちりぬゆきまこそれん
さしおくとも見れはあるはのぶまと
見ハ法華経を法文和とそうある場はのぶまと
いまん一対よみちのくといひつたてしのぶ州
ゝて衣を摺もうるハ知れる拘あるれ
をんれ一すぢあるべしより一度契おき
よハたるひいるる設よもろれ人よ知んとおもわ
系よハあるぞとくあるにのよハ万葉を

たるに皆聖詠くけそれ百人一首古説よりく
り去のぶまれるいと勢物ぶり古言と書く
いとりこうれをたよんぶ

よ人きるぞ

思ふまをいうるせるかれ風よなびくあるぢれ
ゝとてなるるるるるるるるるるるるるるるん
ある流よ思ふるるるるるるるるるるるるる人の名
清ぢくの秋風よなびくまるふまぢくる人の名
うるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
いうにまるるるるるるるるるるるるるるるる
よるぶるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるる
まるるるるるるるるるるるるるるるるる

そのそんみちよ三四の白ハまりとんとぐ
ちぐれたるようの孫ったらめど老ったるに四一秋れ
毛美地なるく祈ぐ
見ハ人のんそいろくようけりうとんなれどを
んて秋の野紫のめくをよ生てんて孫ハきれ
ぬとそしぶ町ぐらをんてでうりろものハよの
中れ人のんれ花ちぐ有ることをれ彩し
匹ちれまちむ里の老ちるぐにあるくにちしをんと
九を人乃いちら世
見ハ浦士の住里れちぐられまちいでき浦え
んとていちうろれまもあるぬ面をなどぐ
みんとを人のそらんとし浦えんとそて知をん

作よりぶをハ
ちをんやちて
らくあるてる匹の
うしをちるハなー

をちんちりはちハ人の秋と知をんとそるをいひ
初ってせーの又ハ人ぶてまちるる歩べ
老をづきれをもハ
くもりひのうしげちなれるれなをハめにてうえ
えねををでちるれぞ
見ってんハ常ちををれまぐをしけて
思ひやをし秋を新の如くぬてれバ新ハ分を
ちをれぬものは切ひよせてけれども星ち日れ
新ハ眼ちえぬ如人のちをちをれをん
えをとをてびいひをし
けをゆれ
包ちなれんを人ま
おもほしなをて

[illegible]

[illegible]

[illegible]

和名抄に柂を云
だかじとあり

川なとにてハ柂を小舟の尾にて
清こりをしてくるべくしてくるべくと云
て同じ人に年月を経てんとなし
なほ下の白波ハ人のみおもはゆふとあり

伊勢

和川にて芦と河邊にて床とをとて足手をあらはば
袖もあれ和歌をしらぬ海人もなし
見ハ柂の下に海ハあれどいとなく波をつくる
いそんとして海を昔よりあまたの床とをり或説
ままに海ハあるべき物にあれども床とはなん
みるにてこそみといふなり同人のもとにおくる波
あれのみをしらぬ家のうちにとをけるに同じ
とりはてあまたの床とハ海をとをしてはなれをと

とりはてあまたの床とハ海をとをしてはなれをと
ハ海のよる袖ハ海のなかうつるしはしばそ
床れ苔をはなれをはなれとをしをはなれをとも
人のあるまに八必をとをしべき物にはなれを
はなれて伝りをる女房ひきくあるて物い
をんなとをし伝りはなれをまのうちをれば
柂をたれ方下 よれのまにをやうをぐをとを
いそをとをりをり一床をおをとをしべくまをとを
をれ高をを、世れ美をを同じ

はなれををを

伝をを人を柂をををを

[illegible]

人をたのびゆあひ[illegible]ばかれば
それ家のけ[illegible]をまもりあり きるをもとに
原乃なく成[illegible]

[illegible]

大友れ[illegible]ぬ

人[illegible]

或人[illegible]

をまへ[illegible]
里[illegible]
[illegible]
[illegible]

なのめにて　これ茶にてあてん　独方かれ
べ物をぐぐ給なし
ちやくたのうつる時乃文をばてぐひそれ
分よりこそうこれば仏たうひたし仏て
てんくしもの男ちてくへよこれ
まだ分をかくこさ以ちゆかれおき
以なくよろうこうり
が物
拾芥抄云近院春日北烏丸東鞆松殿右大臣能有
家也いんちとハ文法大臣ハ法子ハ法名下し
てハくこうこれたものくこうこれ
こうかこうこもこ
おのくが物くハ物のがくし仁位紀ハ諺曰有

海人耶因已物以法云云　奇のんあくこうし
影ちくこ　くこ法これ物た
見浮れ苔て常みもどハなん人をくふくも
物くこ思えん
或説ハ見そこうこるみ人乃たまくこうこ
来こる時そくこそこまぐひくこくんなくそも命
宿ハ物くめどれくこ途ハこうこて人
くくくくくひてなくくこ紙をくて四
文を門ぐひくくこ又一條ハ人の作く仏
ものくと思くんくくしくこくこくせめて
くくて入てれぐくれど表ハ一のでえな
回山帖ハ月新ハくこぐ門ハひくく

ナレヤ　オノカモノカラ　ヒ

[illegible]なんとを見て法[illegible]て使る
まぐ[illegible]とうよあ[illegible]ぬをうぐ[illegible]

[illegible]うん人まつ法
まつてとりそで[illegible]てもゆのなんしひてゆく弱れ
行をまき法人乃多れ[illegible]だし
[illegible]ハ[illegible]ゆ[illegible]とゆもれどてうでまひてゆく
人の[illegible]る[illegible]を凡ぐてて膝をれてふてせ
と[illegible]よつてふく前の橋ハ人のあれまへの小
川なとを板てて棚れてちふ[illegible]て法てふ小
橋し後撰よ志ひて行弱れ見れる橋をどよなど
[illegible]やどにてふぐりけんてを八全くてとりても
中納言源れ昇乃[illegible]乃[illegible]とのおつみのを[illegible]結
てふてふにてよみてやれりとる歌

源昇ハ河原左大臣乃男源の[illegible]ハ源[illegible]
平[illegible]れ[illegible]し
お[illegible]れゆ[illegible]ぎ[illegible]
[illegible]
をにかて[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ゆ[illegible]
ゆ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]

山ぶきの垣根よりこゑあをとづれ人をそそれる
ものしてこれ
和名抄に陽已一名解蘇和名ひをつゝらとゝ
書式に書つゝ
まる掛あるよ人れらるゝそせて上ハ座ゝ此紙
六帖よハたゞよ
右なり

大和掛ほよ上方のなりけるなれひゝ
とゝひゝる人ゝ
あるよ行ゝ
とゝものをんほゝ

大君ハ君ゝ住人れゝ
めゝる一段ん
ゝハ
ゝを掛ゝ

ほゝまゝ乃形ん
まゝ
ん
わゝれ
ゝれ
ゝ
ゝ

大和物語

まゐ紙のゆゑなぬ本にはあらねどかの
にはくばかりあるべし衣だう脱
ゐられるを男はうちうちはうちうちはうちうちを
ちうちうちうちうちうちうちうちうちうちうちうち
なりけり
はうちうちうちうちうちうちうちうちうちうちうち
使なりけるうちうちうちうちうちうちうちうち
はうちうちうちうちうちうちうちうちうちうちうち
歌
かうちうちうちうちうちうちうちうちうちうちうち
ものを
はうちうちうちうちうちうちうちうちうちうちうち
はうちうちうちうちうちうちうちうちうちうちうち
あるべしよ

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan